

パレット

第108号 東海美術連盟ニュース
発行日：令和元年12月1日
発行責任者：棚井 哲雄

合評会・研究会

仲支部 山本 啓子

朝夕はめっきり秋らしくなりましたが、猛烈に暑い9月1日中央公民館にて合評会、研究会が行われ、17名の方々の個性豊かな作品が揃いました。

希望をもって描きはじめても仕上がりが近づくまでも、思った通りに進まず、どうしたら良いものかと迷ってしまう事があります。そういう時に先輩方の的確なアドバイスや仲間の意見などで、迷いから解かれ、そうか！ そうすれば良いのかと納得し、先に進むことができます。

力作が楽しみです。本当に暑い中、皆様の活発なご意見をいただき、楽しい合評会・研究会でした。

ご協力ありがとうございました。



十人十色の意見や感想が出ました

日帰リスケッチ会 ~鵜の岬~

北支部 番場 正男

台風20号が関東地方を直撃・通過し、21号も並走する10月23日はまさに奇跡に近い快晴に恵まれた。参加者14名は村の社会福祉協議会バスで国民宿舎「鵜の岬」を目指した。

着いた時の海は沖合まで白波が立ち、塩分を含む海風が顔にあたりすごい。宿舎は回遊歩道が張り巡らされており、各自三々五々スケッチポイントに向かう。

さて、茨城県は今年国体開催県ながら県別魅力度・愛着度が報じられ連続最下位云々だったとか…。

しかし、国民宿舎「鵜の岬」は、設置以来27年間設備利用率日本一であるとかで不思議なことだ！

スケッチ会参加者は、併設のレストラン「潮騒」で昼食をいただく。やや静まりかけてきた海の景観

台風上陸の最中ながら、秋のさわやかな天候に恵まれ、早い人は4枚ものスケッチをこなしたとか？『描く』・『食べる』『だべる』を存分に楽しんできました。



イイ天気!いい気分!!



南支部

永山 昭子さんに

Tea タイム

Q 絵を描くようになって何年ぐらいですか？ また、きっかけはどんなことでしたか？

A 絵を描くようになって約23年ぐらいになると思います(途中体調不良で5年ほど休みがちでした)。

きっかけは、村で絵画教室生徒募集でした。ハイキングが好きで山々の風景に感動し、絵に描きたいと思ったからです。

いつも笑顔が素敵ですが、絵を描いていて良かったことは？

A スケッチ旅行に参加して、仲間の人たちと会話したり、楽しい時をすごせることです。

今着ている洋服も手作りだそうですが、絵以外の楽しみをお聞かせください。

A 手芸店の一日体験ソーイングに参加して、すっかりはまってしまい、月2回の教室でTシャツ・ベスト・パンツなど作っています。今は布を選んだりするのが楽しみです。

Q 生活や健康面で心がけていることなどありますか？

A 特にはないのですが、細かい手仕事をしていると身体がまるまるてくるので、テレビで見た肩まわしを朝、夕と各5~10回ぐらいやります。

Q これからどんな感じで絵を描いていきたいですか？

A 今と同じように、仲間の人たちと楽しく描ければ良いと思っています。



世界に一枚のブラウスで



Information

ジュディ小品展	12月7日～12月11日	Gallery せらうい(笠間)	【中田、木梨他】
子ども芸術祭	12月8日	東海文化センター他	
アートロードキックオフ	R2.1月18日 午前10時～	東海文化センター会議室	【会員】
東海美術連盟新年会	R2.1月18日 正午～	東海文化センター会議室	【会員】
第32回 アートロード展	2月1日～4月30日	協賛展 各事業所	【会員】
アートロードギャラリー展	2月2日～2月8日(絵画・彫刻・工芸・華道)	東海ステーションギャラリーA・B室	
	2月9日～2月15日(書・写真)A・B室		
アートフラッグ小品展	2月16日～2月22日	東海ステーションギャラリーB室	【加藤木他】
コスチュームデッサン	期日未定	場所未定	【会員】

東海村文化祭2019

理事長 棚井 哲雄

令和初めての「東海村文化祭 2019」は11月2日～4日の3日間、東海村総合体育館で開かれました。美術連盟の展示作品参加者は61名（内一般参加作品は6点）でした。この数字は年々減少傾向にあるのが気になるところです。参加者の減少もさることながら全体的に作品が小さくなり、今年は50号が3点、30号が5点それ以外は10号前後が大半でした。

必ずしも大きいから良いというわけではありません。それぞれ力作ぞろいではありますが、来場者の中からも「今年はいつもより作品が少ないのかな」と言う声がありました。

文化祭には、今年も多くの方が来場されました。去年の5,637名を上回り 5,975名の方の目に何らかの形で触れたと思います。また体験コーナーも盛況でした。当番の方には大変なご苦労を掛けてしまいま

した。ありがとうございます。
異常気象による激甚災害が各地で起きている中、こうして文化祭が盛大に開催される事は、大変恵まれていることを実感した3日間でした。



今年も盛況、体験コーナー

リボーン・アートボール展

国体関連企画の「リボーン・アートボール展 in TOKAI(9月1日～9月21日)」は東海ステーションギャラリーBで行われ、ワークショップ「みんなでアートボールをつくろう」に美術連盟有志が参加した。



国体向けボランティア

国体関連ちらしやグッズの袋詰め作業をボランティアで行った。



堀川事務局長と西支部理事長
の中村さん

アートロード研修会

9月3日アートロード研修会は群馬方面で刀剣美術館やスバル工場を見学した。



公募展だより

ねんりんピック紀の国わかやま2019
美術展(和歌山県民文化会館11.9～12)



明日へ 佐藤 富夫



彫刻部 市制80周年記念特別賞
決意 鈴木 澄枝



夏の思い出 鈴木 しほ



ある日の残照 松尾秀子

令和元年茨城県芸術祭(11.9～24)
近代美術館



彫刻部 奨励賞
曙 鈴木 澄枝



母になる 鈴木 しほ



去年の夏 井坂 咲子



令和へ一歩 三澤宇紀子



想いを秘めて 鈴木 綾子



午後の陽射して 豊島 和久



四面塔 鴨志田 範夫



揺らめく 柴田 伊久代



守護神 齊藤 七重

しぐれて来たか 栗原 豊